

第7回ワークショップの結果概要（案）

【評価表について】

■B' +F' 案の確認

- 前回のワークショップ結果を受けて新規に作成した B'+F'案は、十分に意見を反映させた内容になっている。

■評価結果

- 評価表の評価結果に対して特に異論はない。
- 財政負担や負担の公平性の評価項目で、B' 案と F' 案を合体させると、なぜ各々の案の評価よりも低い結果になるなど、いくつか分からない点がある。
- B' +F' 案の財政負担や負担の公平性の項目における評価が低いことに納得がいかない人が多いのならば、もっと詳細なデータを示して理解を求める必要があるのではないか。

■評価の基準

- 「③地域のまとまりや中心性を保つ」の評価は、潟東のような郊外地域ではどのような意味があるのか、公共施設を集約した場所を地域の中心とするという意味が分からない。住宅市街地で考える中心性と同じ基準で評価するのは無理があるのではないか。
- 地域のどこからでもアクセスしやすい真ん中に機能を集中させて拠点とすることを地域のまとまりや中心性として評価とすることは納得できる。
- 「⑦アクセスしやすく、気軽に使える」を評価する際には、公共交通の拠点からのアクセスの良さという視点も加味してほしい。
- 地域が活性化することが最も重要なことだと思うので、案を選択する際にはこの項目を重視してほしい。
- 今ある機能がなくなったり、使いづらくなったりすることは住民の生活にとって大きなマイナスになるので、評価の際には現状機能の維持できているかという点を重視してほしい。
- たとえ評価結果が高くても、避難所整備など最重要だと思う評価項目を満たさない案を選択することは納得がいかない。

【付帯事項について】

■B' 案

- 民間への売却、貸付によるコスト削減にどこまで実現性があるかが不透明だ。

売却後にどのように整備され、運営されるかが分からないことが不安だ。

- 小学校跡地や他の施設の売却・貸付を前提としているが、それが困難なことも予想されるので、市が所有したまま、運営のみを民間に任せることも検討してはどうか。
- 民間活用の必要性は理解できるが、民間に売却できたとしても景気の動向によっては撤退してしまうことも考えられるので、かえって地域が衰退してしまうことが懸念される。
- 旧南小学校は、近隣に医療や福祉施設があることを踏まえると、福祉をテーマにするのに適しているが、一方でアクセスの良さを生かした商業拠点の方向性も考えられる。跡地利用の際はテーマ設定についての議論が必要だろう。
- 民間に売却・貸付されても協定を結ぶことで一時的な避難所機能を持たせられるとのことだが、潟東地区には農業従事者が多いため、被災後も農地の維持や管理ができるよう、長期間生活できる仮設住宅を建てられるようになっていなければ意味がない。
- 旧小学校跡地を市が維持し続ければ財政に大きな負担を与えることは明らかなのだから、今後高齢化などでますます財政が厳しくなる状況を踏まえ、今のうちに売却・貸付などの手を打って、維持コストを削減すべきだ。
- 長期間滞在できる避難所があると安心なので、南小学校だけでも市で維持し続けることを加えられないか。
- コミュニティセンターが複合化される潟東体育館では、移転される生活体験館の調理室機能の強化や会議室機能の維持を必ず実施してほしい。農村環境改善センターの小体育館についても使い勝手が良いので同規模で残してほしい。

■C' 案

- 西小学校の体育館に機能を集約すれば、無駄を減らすことにつながるし、スポーツを軸として地域振興を図るというテーマにも合っている。

■F' 案

- F' 案では小学校を市が維持し続けることができるので災害時の長期の避難所として使えると思ったが、南小学校の体育館・グラウンドを売却・貸付するのでは意味がない。災害時に備え、体育館とグラウンドも売却せずに小学校跡地全体を市で管理してほしい。

■B' +F' 案

- B' +F' 案は一番各地域のバランスが取れていて良い案だと思う。
- 旧東小学校のグラウンドを公園として整備することになっているが、スポー

ツ活動が継続して行えるようにグラウンド機能も残してほしい。

- 南小学校跡地は土地の標高が高く、災害時に安全な場所なのではないか。そうであれば避難所を設けるのに適しているし、利用価値も高いため、南小学校だけでも売却せずに残せないか。
- 潟東農村環境改善センターは、コミュニティ協議会の活動拠点となるため、コミュニティセンターの機能を複合化する潟東体育館の中に置く方がよく、そうすれば地域のどこからでもアクセスがしやすく使い勝手が良い。
- この案は、旧小学校跡地それぞれに機能の特色を持たせ分散配置とするF'案をベースにしているため、中心性が弱い。B'案とF'案を統合する場合は、地域の真ん中に拠点を作るB'案をベースにする方が地域の活性化のためには良いのではないか。
- 旧東小学校のグラウンドを公園として整備することがコストの増加につながっているようなので、東公園は売却してコスト削減を図ってはどうか。

■複数案共通の事項

<施設集約>

- 潟東体育館にコミュニティセンターを複合化し、現支所の周りにいろいろな機能を集約すれば、機能が充実して使いやすくなり、潟東の真ん中で祭りも開催できるのでよい。
- 公共施設を集約してコンパクトにただで地域が活性化するとは思えない。他の事例を参考にしながら、集約化が地域の活性化にうまくつながる方法を検討してほしい。
- コミュニティ協議会の活動のためには現在の改善センターは手狭なので、より広いスペースを地区の中心で確保できると良い。

<機能の維持>

- どの案になるにしても、今ある機能がなくなったり、利用していた機能が使えなくなったりすることがない様に留意してほしい。

<子供の居場所・多世代交流>

- 子どもの居場所となる児童館のような施設や、多世代交流のための施設が必要だ。学校と地域の連携が図れるように考えて欲しい。また、子どものための移手段にも配慮しながら配置を考えてほしい。

<スポーツ・文化機能>

- 各小学校のグラウンドと体育館はスポーツの拠点として使い続けられるよ

うにしてほしい。

- ゲートボール場を東小グラウンドに集約することができないか。
- 文化3施設を現在位置に残すことがベストなのか、いまだに納得できない。集約した方が来場者増を見込めるのではないか。

〈避難所機能〉

- 自宅からすぐに避難できるということを考えると、各小学校の校舎は避難所として使い続けられるようにしてほしい。
- 民間活用するにしても、東小学校は嵩上げして水害対策を施し、避難所としての機能を持たせてほしい。現在市が想定している避難所の規模は、十分ではないのではないか。

〈管理運営〉

- 地域の実情に応じて施設を利用できるようにするため、新潟市の基準を一律に適用するのではなく、施設利用のルール適用については、各区に裁量をゆだねてほしい。

〈民間活用〉

- 民間活用せざるをえない状況だと思うので、市の直営による施設運営は現実的ではないと思う。
- 売却や貸付を前提としても、市が提示する条件によっては、その条件に応じる民間が現れるとは限らない。売り捌くためにどんな用途でも良いということになってしまえば困るので、最低限の条件を取り決めておく必要があるのではないか。
- 潟東ひまわりクラブなど、売却予定にしている施設の中には現状での利用頻度の高い施設が入っているので、売却してしまうのは問題ではないか。

■整備のタイミング

- 再編や更新の工事のために、既存の機能が利用できない期間が出てしまわないように配慮して整備を進めてほしい。
- 運営コストの長期的な削減のためには、償却期間が残る給食センターなどの施設も、小学校の移転の際に一緒に移設した方が良いのではないか。
- 学校の工事期間中は、プレハブ校舎や狭いグラウンドなど、望ましい教育環境とは言えない状況が予想されるので、工事期間を極力短くして新設小学校の開校時期を早めてほしい。

【今後の進め方・ワークショップのふりかえり】**■今後の進め方**

- 今回のワークショップで提案された案をそのまま採用するのではなく、今回の議論も反映させながら、更に検討を加えてほしい。
- ベースになる案を選択した後に、さらに修正を行う場合には、改めて住民意見を反映させてほしい。例えば、3つの小学校跡地のうち1校だけを市が維持することにする場合、どの学校を維持するのかについては、改めて白紙の状態から話し合いの機会を設けて欲しい。
- 学校等施設跡地の売却や貸付の検討については、行政主導で進めてもらって構わないが、計画の決定の前には、地域住民への周知を行い、住民意見も聞きながら進めてほしい。
- ひまわりクラブなどの学校跡地以外について売却・貸付を考える際には、周辺地域が不便にならない様に配慮し、関連する他部署と連携、調整しながら進めてほしい。
- 公共施設再編については、地域の関心が低いので、ワークショップや広報誌以外にも、関心を高めるための様々な工夫が必要ではないか。そのことで、今回の事業だけでなく、地域全体に対して愛着や興味を持つ人を増やしたらよい。

■ふりかえり

- 参加者同士で忌憚なく意見を出し合うことができ、事務局も真摯に聞いてくれたことで、回を重ねることに内容が具体化してきたと思う。
- ワークショップの資料が多かったので、読み込みや理解が大変だった。
- 意見を出しても市の思惑に寄せられている印象を受けている。結局意見が反映されないのでは話し合いを重ねたことが徒労に終わってしまうので、そうならないためには住民としてこれだけは譲れないということを強く伝えるべきだと思う。
- 施設を再編したことで地域が良くなったと思うことができ、地域を愛する人が育つ施設、環境づくりをしてほしい。